

愛&ハート

◆愛の家

- 日中活動の一部を紹介
- 夏の恒例行事!
- 地域社会における福祉事業所

◆あいハート須磨

- あいハート須磨 夏祭り
- ケアマネジャーになって
- ノーリフティングケア実践を通じた職員たちの成長

◆あいハート離宮前

- 有料老人ホームを選ぶ際のチェックポイント⑤

2023 September

266号

◆ボランティアのご紹介

◆ご寄付について

かがやき利用者さん



きぼう利用者さん



愛の家

日中活動の一部を紹介

●かがやきスタッフ
古川 智香子

6月から日中活動の1つとして制作活動を始めました。季節ごとにテーマを考え、平日の日中活動の時間を活用しながら作品を制作しています。

6月は梅雨の時季を彩る「あじさい」を丸いシールを使って制作しました。利用者さんは画用紙を広げると今から何を作っていくのか興味津々な様子で色んな色のシールを見て、「どこに貼ろうか?」「何色にしようか?」と目を光らせながら制作活動に取り組み始めていました。あじさいの形に



仕上がるにつれて嬉しそうに作品を眺めている姿がありました。

7月は夏の夜空を盛大に彩る「花火」をクレパスで制作しました。そのまま描いて表現することも可能ですが、いつもとは違った技法を使うことにしました。割り箸を使い、利用者さん達が塗った色が沢山浮き上がってくると面白い様子で「もっとやってみよう!」と楽しまれていました。出来上がった作品は1か月間掲示板に掲示され、作品を見るたびに嬉しそうに「この部分は僕が貼ったよ。」「色塗りましたよ。」「綺麗だな。」等、スタッフに教えてくれます。

8月は夏祭りのステージで踊るためビニール紐でポンポンを製作しました。最初は興味を持ってもらえるのか不安な面もありましたが、やっているところを見てもうい、興味を持ってもらえるよう声掛けを行うと集まって順番に作品を仕上げている姿がありました。

今後も利用者さんが慣れ親しんだ身近なものをテーマに意欲的に取り組めるような制作活動ができるようにしていきたいです。

夏の恒例行事!

●きぼうリーダー
能治 敦

来年こそは・・・

児童の保護者さんから頂くそうめんを使用した流しそうめんが夏の恒例行事となり児童もお腹一杯そうめんを食べることができとても喜ぶ行事になっています。今年は、例年と趣向を変えペットボトルを再利用した流し台を作り、そこにそうめんを流して食べようということになりました。

まず、ペットボトルを規格に合わせて切ることから始まり、ペットボトルによっては強度が弱く使えないものもあり意外と大変だなと感じつつ、実習生や児童にも手伝ってもらいながら準備をしました。

当日、インターネットで検索し、児童、実習生、スタッフ、みんなで行っていましたが、何とか形になり、いざ水を流してみると上手く水が流れず、補強したり角度を変えてみたりとしましたが、上手

くいきませんでした。時間もせまり泣く泣く今回は諦めて例年使用している流しそうめん台を使うことになりました。

失敗もあり時間も遅くなりましたが、そうめんときゅうり、プチトマト、トウモロコシの鮮やかな野菜を流し、例年通りみんな喜んで食べ、そうめんがなくなるまでお代わりに並んでいました。児童が喜んで食べていたのでよかったのですが、個人的には来年こそ手作りのそうめん台を完成させたいと強く思いました。



地域社会における 福祉事業所

● 工房みさきリーダー
服部 太志

コロナ禍による各規制も緩和され、工房みさきでも地域との関わりが徐々に増え始めました。岬町社会福祉協議会主催「ふれあい喫茶」では利用者さんのウエイター活動の依頼があり参加しました。喫茶には、月1回利用者さんが単独でバスに乗り、地域の会館に通っています。久しぶりの地域での活動ということもあり、利用者さんも毎月の楽しみとして活動に参加されています。利用者さんの社会参加のサポートは支援のひとつでもあり今後も地域での活動の幅が少しでも増えること願っています。

また、同月には淡輪小学校の子ども達が「人権教育」で工房みさきに来られました。「人権教育」では、子ども達の日常生活において、障がいを抱えた人と触れ合う機会がないことから障がい者へ

の理解を目的として、「作業の体験」と「障がいの理解に関する講義」を実施しました。「作業の体験」では、普段、利用者さんが取り組まれている作業毎にグループに分かれて活動していただきました。

特に「ペットボトル作業」が大人気で、ペットボトルを踏んだときの音や感覚が楽しかったという感想をいただきました



した。また、細かい技術を要する「軍手作業」では、子ども達が細かい糸切りに苦戦していると、利用者さんが積極的に切り方を教えている姿も見受けられ、とても頼もしく感じました。学習後は、子ども達からメッセージ付きの作品をいただき、施設内に掲示しています。

次月には、新規作業の打ち合わせ



せも予定しており、一時期のコロナの影響による作業の請負数激減の期間を思うと、少しずつ作業面においても活気が戻りつつあります。引き続き、利用者さんの安心・安全に留意しながら、工房みさきの皆さんと一緒に頑張っていきたいと思えます。今後とも工房みさきをよろしく願います。



あいハート須磨

あいハート須磨 夏祭り

● 特養介護スタッフ
檜垣 泰二郎

8月20日(日)、あいハート須磨の特養部門にて夏祭りを開催いたしました。

2020年度から昨年までの3年間、感染症の影響によってご入居者と職員のみでイベントを開催することしかできませんでしたが、今年度から新型コロナウイルスが5類感染症に位置づけ



られたことを受け、ご家族様にもご参加いただける夏祭りを企画することにしました。

ご家族様におかれましては、長期にわたる面会制限によってゆっくりとご入居者とお話しやお食事をする時間を持っていたことが出来ず、大変ご不便をおかけいたしました。今回の夏祭りはご入居者のご家族様が安心してゆっくりと一緒に食事をしていただけるように、手洗い・消毒・換気・人数制限などの感染症対策を行ないました。

当日、施設長の挨拶とご入居者



代表の方の開会宣言でいよいよ夏祭りがスタート！今年新卒で入職したフレッシュな介護スタッフ・長田さんの司会で夏祭りは順調に進行しました。

食事はお祭りらしい屋台風のメニューである、たこ焼き・焼きそば・カレー・フライドチキン・おでん・アイス・ドリンクをご用意しました。

また、今回の夏祭りからボランティアのご参加も再開し、NTT労働組合兵庫分会より15名のボランティアの方々にお越しいただきました。以前の夏祭りでも恒例だった屋台が久しぶりに復活

し、参加者の方々に出来たて熱々のたこ焼きと焼きそばを届けてくださいました。

ゲームコーナーでは遊ビリ（施設内で職員と一緒に汗なう体を使ったレクリエーション）でも行っている「輪投げ」をご用意しました。

職員が手作りのお神輿を担ぎ、大きな団扇を扇ぎながら「わっしょい！わっしょい！」と場を盛り上げ1階から3階までを練り歩くと会場は一気に賑やかに。ご入居者・ご家族様・職員の笑顔があふれました。

参加されたご入居者・ご家族様にはお神輿をバックに記念写真を撮らせていただきました。皆様、思い思いに様々な表情を浮かべながら、「家族に会えて嬉しかったよ」「ご飯美味しかったよ」「お神輿担いでお疲れ様」等の言葉をかけてくださいました。

楽しい時間は本当にあっという間に過ぎ、終了の時間となりました。

今後もご入居者のご家族様が笑顔で触れ合える機会を作っていきます。

たいと考えておりますので、どうぞよろしく願いいたします。

ご協力いただいたNTT労働組合兵庫分会の皆様、誠にありがとうございました。

ケアマネジャーになって

● 居宅ケアマネジャー
毛利 芽衣

私が「居宅介護支援事業所で働きたい！」と思ったきっかけはケアマネの実習であいハート須磨にお世話になったことでした。

それまでは特養や老健の入所施設で介護福祉士として働いてきた為、ケアマネ資格取得後も施設ケアマネを希望していました。その頃に勤務していた特養では、コロナ禍もあって行事やイベントも難しく、面会も予約制（流行時は中止）、ちょっとした気分転換でも外に散歩も行けない状態でした。多くの方が楽しみを持って、ストレスを抱えておられる状態であると日々感じていました。

施設には、手厚い介護が必要な

い方もおり、「こんなにストレスを抱えて施設で生活をしなくても、まだまだご自宅で生活ができたのでは？」と思う方もいらっしゃるかもしれません。もちろん、ご利用者だけでなく、ご家族や生活環境などの事情で選択をされた施設入所だったとは思いますが・・・。

あいハート須磨でのケアマネ実習では、ご利用者の在宅での様子だけでなく、支援の方法によっては、すぐに施設入所を選択しなくても、在宅で長く過ごすことができることなど、居宅支援事業でのやりがいを教わりました。また、実習をきっかけに、在宅で過ごされるご利用者の「住み慣れた自分の家で生活を続けたい」という思いを支えられる仕事がしたい、その思いを叶えたいと思うようになりました。

実際にあいハート須磨に入職してからは、分からないことだらけでつまづいてばかりの毎日です。ご利用者の生活環境やご希望、お困りごとは様々です。必要な知識も介護保険以外に、医療的なことから障害のこと、社会や地



域のこと、趣味の話まで幅が広いです。初めてのことで、ご利用者にはご迷惑をおかけしながらも精一杯対応させていただきます。新人の私に、部門内の先輩方をはじめ、あんしんすこやかセンター部門の皆様、他職種の事業所の皆様

が親切に教えてくださり、経験を積ませていただき感謝の気持ちでいっぱいです。これからも一つ一つ知識を着実に自分の身に付け、地域で生活される方のお役に少しでも立っていただけるように頑張っていきたいと思えます。



ノーマルディングケア実践を通じた職員たちの成長

● あいハート須磨 施設長
高岡 順二

過去、愛&ハートの誌面で、あいハート須磨特養部門が「ノーマルディングケアの定着に向けて」のタイトルで2回に分けてその取り組み内容を紹介しましたが、ノーマルディングケアは利用者への安心安楽な介護支援を行うと同時に、介護職員の腰部の負担軽減に有効な介入方法です。

2013年に改定された厚生労働省の「職場における腰痛予防対策指針」では、「全介助の必要な対象者には、原則として人力による人の抱上げは行わず、リフト等の福祉機器の活用を促すこと」と、原則禁止であることが明示されています。使用者側としては、職場環境の整備や抱えない介護技術の習得機会の提供等、介護現場において新しい働き方を取り入れ、職員の健康を守るための取り組みを進めていく必要があります。

2021年4月の介護報酬改定

によって職場の腰痛予防対策が加算対象となり、ノーマルディングケアに取り組みする事業所が評価されるようになっていきます。加えて、2023年度から5年間の労働災害防止計画の中でもノーマルディングケア導入事業所を増加させることを目標にしていることから、ここ最近では急速にノーマルディングケアに関する研修や新しいリフト等の福祉機器の研究開発が進んでいます。

ノーマルディングケアを導入している施設で介護業務を経験した人たちの中には、リフトが無い施設ではもう働くことができないと考えている方も多くなってきました。ケアが定着すると職員確保の面でも有利に働きますし、高齢になっても働き続けることが可能となり離職防止の面でも非常に効果的です。

高知県では2016年から「高知家まるごとノーマルディングケアのキャッチフレーズで、ノーマルディングケアを通じて介護に関する意識や働き方を変える取り組みを推進していますし、福岡県や愛知県でも普

及推進事業を実施する等、全国的にも広がってきています。

兵庫県内でもノーリフティンブケアの理念や考え方を県内で普及させるための研修会が開催されていますが、あいハート須磨では職員がこれらの研修を積極的に受講し、施設内での水平展開を推進しました。結果、施設全体でノーリフティンブケアに取り組んでいることが評価され、今年度は「ひょうごノーリフティンブケアモデル施設」として兵庫県知事から認定を受けました。



医療・福祉業界の最近のトレンドの一つとして「ロボットやICT等介護テクノロジーの導入」が挙げられますが、ノーリフティンブケアはそれらを活用することで、介護する側、される側双方の健康と安全を守るケアとして認識されています。

これから益々全国に拡大し、スタンダードなケアとして定着化していくと想像できます。

我々を取り巻く環境は更に速いスピードで変化していくと考えられますが、それに乗り遅れないようにしっかりと対応し、常に「変革」を意識しながら、向上心をもって成長していく職員たちの姿を今後も期待しています。

あいハート離宮前

有料老人ホームを選ぶ際のチェックポイント⑤

● あいハート離宮前 施設長 古崎 徹

シリーズでお伝えしております「有料老人ホームを選ぶ際のチェックポイント」ですが、今回は「立地」と「介護イノベーション」についてお話ししたいと思います。

まず「立地」に関してですが、今や人生100年と言われる時代ですから、お子様やご親族様もご高齢と

なり免許を返納されることも珍しくなく、交通の便が悪いと将来足が遠のくということにもなりかねません。ご入居者様にとってご家族様とのふれ合いは大変重要ですから、ホームを選ばれる際にはご負担なく通える環境も視野に入れていただきたいと考えています。

また、高齢者施設で自然災害により尊い命が失われる事故が相次いだことを受け、介護事業者には大規模災害発生時等のBCP(事業継続計画)の策定が義務付けられました。が、ホームがハザードマップのどのような災害の危険想定地域に指定されているかと、それに対する当該ホームの備えを把握しておくことも重要です。

加えて、生産年齢人口が先細りの状況にありますので、安定的に職員を確保する上でも通勤の利便性を左右する「立地」の重要性は増しています。

次に介護イノベーションの導入状況です。あいハート離宮前では「眠りSCANNER」というマ

サーが心拍と呼吸数を測定して、ご入居者様の離床はもとより、睡眠・覚醒が把握できる見守りシステムを導入し、覚醒時にオムツ交換をするなど睡眠を妨げない取り組みをしています。また、プライバシーに十分配慮されたカメラによる見守りにより、



事故の防止を図るとともに、万一事故が発生した場合にも録画映像の検証による精度の高い再発防止策を実施しています。更には各種移乗用リフトの導入により安全で安楽な介護に取り組みんでいます。

このように日々進化する介護イノベーションは、安心かつ安楽な介護と事故やヒューマンエラーの未然防止に寄与するなどサービスの質に直結しますから、導入状況について確認されるとよいでしょう。



ボランティアの紹介



8月20日(日)
特別養護老人
ホームあいハ
ート須磨、8月
23日(水)知的
障害者総合福
祉施設愛の家
においては初
めてとなる『夏
祭り』を開催し
ました。



今年も引き続
き新型コロナウイルスの感染予防対策は行いながらの
縮小開催としましたが、たこ焼き、やきそば、

かき氷、出し物など、夏祭りならではの出店も
企画しました。

出店に際し、例年ご協力いただいております、
す、N T T労働組合の各分会、退職者の会、
O Bの方々にはボランティアを要請し、あいハ
ート須磨では約15名、愛の家では約25名の
方々にお集まりいただきました。

当日は暑い中、焼き物の調理やゲーム等の
出し物における利用者さんへの対応をして
くださいました。利用者さんへも優しくお声



かけをいただき、笑顔もたくさん見られ、皆
さんとても満足された様子でした。

事前準備から片付けまで手際よく対応い
ただくことができ、夏祭りは無事に成功裏に
終わらせることができました。改めて、
感謝申し上げます。誠にありがとうございました。

今後とも、当法人の運営にご理解、ご協力
を賜りますよう、よろしくお願いいたしま
す。



ご寄付について

日頃は当法人に対しまして、寄付金やボランティア等のご支援を賜り誠にありがとうございます。

昨年もNTT労働組合様による後援会活動の取り組みをはじめ、退職者の会大阪支部協議会様による愛のキャンパやNTTグループ各社様のマッチングギフト等、多くの団体や個人のみなさまから総額17,571,068円(2022年度)の寄付金及び寄贈品等を頂戴いたしました。

寄付者	寄付金額
NTT労組 後援会様	10,539,024
NTT退職者の会大阪支部様(愛のキャンパ)	600,000
NTTグループ各社様(マッチングギフト)	2,985,600
その他(各企業、個人様)	3,446,444
寄付金合計	17,571,068

改めまして、ご寄付を頂戴しましたNTT労働組合各分会をはじめ、NTTグループ各社他、全てのみなさまに感謝申し上げます。

理事長 橋本 寿樹

【寄付金のお振込口座のご案内】

金融機関名	近畿労働金庫 梅田支店	みずほ銀行 堂島支店	ゆうちょ銀行	三菱UFJ銀行 野田支店
店番号	582	507	—	059
口座番号	9006617	1254625	00900-9-320887	0243064
口座名	社会福祉法人 全電通近畿社会福祉事業団「フク」ゼンデンツウキンキシャカイフクジギョウダン			

留意事項

- ※インターネットバンキングをご利用の場合、振込手数料は発生しません。
- ※ゆうちょ銀行では一部商品・サービスの料金新設・改定(2022年1月17日)により、料金受取人負担の振込取扱票を利用しても、現金振込の場合、振込人にも振込手数料(110円)が発生します。
- ※寄付金口座への直接振込みの場合、寄付目的は「使用目的は法人に一任」といたします。
- ※領収書を希望される場合は、①名前、②住所、③電話番号、④振込日、⑤振込銀行名、⑥金額をメールまたは郵送、FAXでお知らせください。後日、郵送にて領収書を送付いたします。

ご支援をくださった方々

《6月》

寄付金

NTT労働組合退職者の会
京都支部協議会 様
旧大阪市外電話局
釣クラブ宮津会 様
花みずき会 様

後援会費

NTT労働組合関西総支部
社会貢献ボランティア基金 様
NTT西日本関西支店
社会福祉推進委員会 様
NTT西日本京都支店
社会福祉推進委員会 様
NTT西日本兵庫支店
社会福祉推進委員会 様
(計7件)

《7月》

寄付金

大阪市外電話局大施会 様
情報労連滋賀県協議会 様

寄贈品

お名前掲載不可 1件 様
(計3件)

《8月》

後援会費

NTT労働組合ドコモ本部
関西総分会 様

寄贈品

お名前掲載不可 1件 様
(計2件)

「皆様の声」受付窓口

全電通近畿社会福祉事業団では、社会福祉法第82条の規定に基づき、利用者家族の皆様等から「苦情」やご意見に適切にお応えするための体制をとっています。面接・電話・書面等のようなかたちでも結構ですので、遠慮なく、お気軽にお申し出ください。

- 愛の家 …………… 072-494-0123
- あいハート須磨 ……… 078-737-2525
- あいハート離宮前 …… 078-731-2130
- 法人本部 …………… 06-6458-5723

【発行】

社会福祉法人 全電通近畿社会福祉事業団
〒553-0003 大阪市福島区福島 3-1-73
TEL 06-6458-5723

Website <https://www.zendentu-kinki.jp>

Facebook <http://www.facebook.com/zendentukinki>

E-mail jigyodan@silver.ocn.ne.jp

【発行人】

理事長 橋本 寿樹

